



まんだらげ

Vol. **64**
2023 SPRING



南部梅林 (みなべ町)

Contents

- 特集** ……手術支援ロボットを用いた手術～ロボット支援下手術の開始から10年。最新の実績と今後の取り組みについて～
- Topics** ……診療科・中央部門の紹介／外来医療費後払いサービスについて／看護師特定行為研修修了式
- Information** ……皮膚マクロファージのバランスと創傷治癒～創傷治癒促進を目指して～／喫煙、血圧、飲酒が都道府県の平均寿命に影響する／「次世代リーダー賞」授賞式について／がんプロ市民公開講座 動画配信のご案内／令和4年度がんのリハビリテーション研修会 in 和歌山(E-CAREER)開催!

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私たちは安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

手術支援ロボットを用いた手術

～ロボット支援下手術の開始から10年。
最新の実績と今後の取り組みについて～

泌尿器科におけるロボット支援下手術について

当科では、泌尿器の悪性腫瘍に対する手術に関してはほとんどをロボット支援下手術で行っており、2022年のロボット支援下手術件数は176例でした。



- (1) 前立腺癌に対する根治的前立腺全摘除術
年間100例前後の手術を行っています。
2022年：88例
- (2) 小径腎癌に対する腎部分切除術
年間30例前後の手術を行っています。
2022年：34例
- (3) 膀胱癌に対する膀胱全摘除術
年間15例前後の手術を行っています。
2022年：17例
- (4) 腎癌に対する根治的腎摘除術
2022年から保険適用となり、15例施行しました。
- (5) 腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術
2022年から保険適用となり、10例施行しました。
- (6) その他には、副腎腫瘍に対する副腎摘除術
(2022年：8例)、腎盂尿管移行部狭窄に対する腎盂形成術 (2022年：4例) を行っています。

消化器・内分泌・小児外科におけるロボット支援下手術について

当科は、消化管外科（食道・胃・大腸）、肝胆膵外科（肝臓・胆道・膵臓）、内分泌外科、小児外科において、地域の外科医療のさらなる向上のために高度外科医療（高難度手術と腹腔鏡手術・ロボット支援下手術による低侵襲手術）を実践することを教室の柱としております。これまでは胃癌、直腸癌のみを適応としておりましたが、今年度は「消化器癌におけるロボット支援下手術の幕開け」として、食道癌・肝癌・膵癌に対してもロボット支援下手術を開始しました。そして、結腸癌に対してもロボット支援下手術を開始予定です。そのような中、患者さんにとって最も重要なことである「安全な治療で病気が完治すること」を常に念頭に、地域に信頼される質の高い最先端の外科医療の提供に努め、高齢・高リスク患者さんであっても安全な手術を行ってまいります。



当院では、2012年12月から手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、ロボット支援下手術を行っています。初代ダヴィンチの更新に伴い2017年にはダヴィンチを2台購入し、2021年4月から国産初の手術支援ロボット「ヒノトリ」を使った前立腺全摘除術を開始しています。

近年では泌尿器科領域のみならず、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科領域でもロボット支援下手術が保険収載となっており、ロボット支援下手術の必要性に伴い、その領域も広がっています。当院でも、昨年秋（2022年11月）からは産科・婦人科がロボット支援下手術を開始しました。

ロボット支援下手術を導入している各診療科の最新の手術実績や取り組みなどを紹介します。

呼吸器外科におけるロボット支援下手術について

「胸腔鏡手術」といっても小開胸から覗き込みながら手術を行う胸腔鏡補助下手術から、小さい孔のみでモニター視のみで行うものまで「胸腔鏡手術」とされており、実態は様々です。当科では、低侵襲性と高い整容性の完全胸腔鏡手術という、傷を最小にする低侵襲手術にこだわって手術を行ってきましたが、直線的な鉗子を用いるため動作制限という欠点がありました。完全胸腔鏡手術の低侵襲性を担保したまま動作制限を克服したロボット支援下手術が行われ

るようになり、呼吸器外科領域では2018年から保険適応となりました。当科では2019年6月からロボット支援下手術を開始し、2023年3月までに、約50例の実績があり近年増加傾向です。ダヴィンチ手術は認定資格を取得し、トレーニングを積んだ医師によって行われます。手術支援ロボットは医師の手で操作され、勝手に動くことはありません。ダヴィンチ手術は保険診療ですので、通常の手術と同等の費用で、追加にかかる費用はありません。



ダヴィンチ手術の手術風景



コンソールで操作する術者

産科・婦人科におけるロボット支援下手術について

産科・婦人科におけるロボット支援下手術（ダヴィンチ手術）についてご紹介いたします。

ダヴィンチ手術では、従来の腹腔鏡下手術より優れた3次元拡大視野で各臓器を見ることができ、可動性に優れた鉗子が術者の精細な操作を手助けします。これらの特徴から、ダヴィンチ手術は狭く深い骨盤内手術で、特にその威力を発揮します。

当科では2022年11月に良性子宮疾患（子宮筋腫や子宮腺筋症）に対する、ロボット支援子宮全摘術を導入しました。本手術は2018年4月から保険収載されております。当科では、今後、増々本手術に力を入れて行く予定です。なお、本手術の実施については医学的な判断が必要ですので、詳しくは主治医にお尋ねください。



診療科・中央部門の紹介／リハビリテーション科・リハビリテーション部

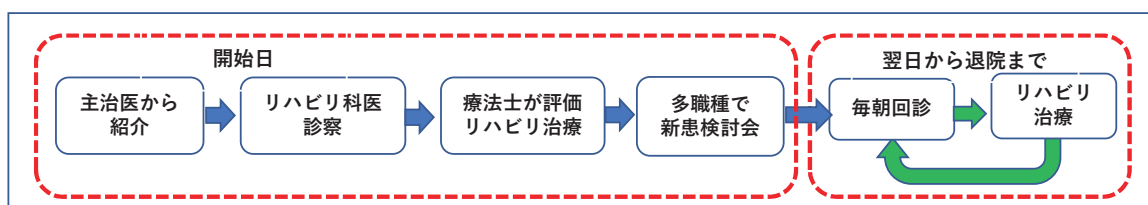
超急性期のリハビリテーション治療を安全に実践するために ～PROr (Physiatrist and Registered therapist Operating Rehabilitation)～

多くの診療科が治療の専門としているものは臓器や器官であるのに対し、リハビリテーション科が対象としているのは障害、機能、活動です。病気や障害を持つすべての患者さんと向き合うために、リハビリテーション科医と理学療法士、作業療法士、言語聴覚士には、幅広い知識と技術が必要となります。

当院では、各診療科の主治医からリハビリテーション科にご紹介いただいた患者さんを必ずリハビリテーシ

ョン科医が診察して、正確な診断のもと処方を行います。そのうえで療法士*が評価を行い、可能な限り高負荷、長時間のリハビリテーション治療を開始します。例えば脳梗塞を発症して救急で入院された患者さんには、リハビリテーション科に紹介されたその日から立ったり、可能であれば歩行訓練を開始しています。そして、多職種で新患検討会を行い、治療方針を決定しています。

※療法士：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を含む



超急性期のリハビリテーション治療を実践するためには、リスク管理を習得する必要があります。当科は毎朝、リハビリテーション治療を実施している患者さんを回診して体調を確認し、その日の状態に合わせたプログラムを検討しています。

また、年に2回、医師、看護師、療法士で急変時対応の訓練も行っています(写真)。

このリハビリテーション科医による適切な医学的管理下で、医学的知識と技術的に習熟した療法士が行う積極

的リハビリテーションのことを PROr (Physiatrist and Registered therapist Operating Rehabilitation: プロリハ) と呼び、2017年から実践しています。

このような取り組みが評価され、2018年以降の病院機能評価では最上位の「S」評価をいただいています。これからも患者さんを中心に、安全にリハビリテーション治療ができるよう、多職種で力を合わせてがんばっていきたいと思います。



外来医療費後払いサービスについて

これまで、診察終了後に会計の計算にお待ちいただいていたましたが、スマホ向け外来医療費後払いサービスを利用していただくことで会計を待たずに帰宅できます。

後払いサービスを利用する場合は、外来診察で来院毎に総合受付⑨番窓口にて設置している専用端末での受付が必要です。

支払は登録していただくクレジットカードからの一括決済になります。

領収証、診療明細書は、アプリ(病院外来アプリSma-pa(スマパ))の画面で確認が可能です。または、専用のダウンロードサイトよりPDF形式でダウンロードが可能です。

(登録・受付手順)

外来医療費後払いアプリのご案内

利用することで会計を待たずに帰宅できます

以下の方はご利用できませんのでご注意ください。

- 難病医療費助成、自立支援医療など一部の公費負担制度をご利用の方
- 自賠責保険、労災保険、自費診療による受診の方
- 過去に未払いの医療費がある方 など

ご利用方法 (初回登録)

① 院内での後払い受付を行う前にスマホにアプリをダウンロード (初回のみ)

病院外来アプリSma-pa(スマパ)ダウンロードはこちら



② クレジットカードの登録 (初回のみ)

病院外来アプリSma-pa(スマパ)から登録



③ スマホ診察券の登録 (初回のみ) (注意) スマホ診察券は、後払いサービスのみご利用いただけます。

会計窓口にて設置している後払いサービス専用端末と病院外来アプリSma-pa(スマパ)(スマートフォン)を用いてスマホ診察券を登録



ご利用方法 (毎回)

④ 後払いサービスの受付

【注意】 外来受診に来院毎に、後払いを希望する場合は受付が必要です。

全ての診察が終了したら会計窓口にて設置している後払いサービス専用端末と病院外来アプリSma-pa(スマパ)(スマートフォン)を用いて受付



⑤ 「基本票」と「スマートフォン決済 受付票(病院提出用)」を⑨番 会計窓口にて提出し、帰宅

⑥ 会計窓口にて提出した後について

- ▶ 院外処方箋FAX送付コーナーを利用する場合 「院外処方箋」「スマートフォン決済 受付票(患者様控え)」を、当院の診察券を院外処方箋FAX送付コーナーへ提出してください
- ▶ 院内薬局で処方箋を受け取る場合 病院外来アプリSma-pa(スマパ)に表示される「お薬引換コード」を提示してください
- ▶ 当院の駐車場を利用している方は、「駐車券」と「スマートフォン決済 受付票(患者様控え)」を組合案内にて提出してください

医療費の支払額の確認について

後払いサービスの受付を行った日の医療費は、登録しているクレジットカードからの一括決済になります。当日20時～24時頃に医療費の通知が届きます。

領収証、診療明細書は、アプリ(病院外来アプリSma-pa(スマパ))の画面で確認可能です。または専用のダウンロードサイトよりPDF形式でダウンロードが可能です。ご自身でダウンロードし、保管してください。

【注意】 当院では発行できませんのでご了承ください。

和歌山県立医科大学附属病院

(登録・受付手順は院内の名診療科待合室等にも掲示しています。)

※院内の一部エリアに患者用無料Wi-Fiを整備しています。(2階総合受付付近(7:00～19:00※平日のみ)、各階デイルーム(7:00～21:00))

※以下の方はご利用できませんのでご注意ください

- 難病医療費助成、自立支援医療など一部の公費負担医療制度をご利用の方
- 自賠責保険、労災保険、自費診療による受診の方
- 過去に未払いの医療費がある方など

○医療費の支払額の確認について

外来医療費後払いサービスの受付を行った日の医療費は、当日の20時から24時頃の間にアプリに通知されます。

領収証、診療明細書は、アプリ(病院外来アプリSma-pa(スマパ))の画面で確認できます。または、専用のダウンロードサイトよりPDF形式でダウンロードが可能です。

ご自身でダウンロードし、保管してください。当院では発行できませんのでご了承ください。

※アプリのダウンロード、及び利用には別途データ通信料がかかります。通信料は利用者のご負担となります。ご了承ください。

看護師特定行為研修修了式

本学では今年度、急性期医療を担う院内看護師を対象としたコースを開講し、3月10日に1年間の研修を終えた7名の修了式を挙行了しました。修了生は、手順書に沿って「中心静脈カテーテルの抜去」「直接動脈穿刺法による採血」「橈骨動脈ラインの確保」の3つの特定行為を実施することが可能になります。

川股副院長より、看護の視点を大切に特定行為を

実践していくようにと励ましの言葉を頂きました。修了生の謝辞では、感謝の言葉と共に、自分たちが現場でロールモデルとなれるよう自己研鑽を積むことや、看護師として常に患者に寄り添い、安全かつ安心できる特定行為を実施していきたいと決意が述べられました。修了生は今後、救急や集中治療、病棟での幅広い活躍が期待されています。



列席された川股副院長と柳瀬看護部長と共に



修了生代表で謝辞を述べる岡本看護師

皮膚マクロファージのバランスと創傷治癒～創傷治癒促進を目指して～

皮膚は外敵に対する防御の最前線であり、皮膚に創傷を負った場合にこれを速やかに治癒せしめることは極めて大切であります。しかし、創の感染、栄養状態や全身状態の悪化といった様々な要素によりしばしば創傷治癒が止まってしまいます。創傷治癒中の不十分に制御された応答では、マクロファージ

が慢性創傷（褥瘡や糖尿病性足病変など）や肥厚性癬痕、ケロイドを引き起こす場合もあります。

本学の法医学講座では、マウス創傷モデルおよびヒト創傷サンプルを用いて、皮膚創傷治癒過程におけるM1マクロファージ（病原体や寄生虫感染防御に働く）およびM2マクロファージ（組織修復などにかかわる）の動態を経時的に解析しました。マウス創傷モデルの創傷部位におけるM1マクロファージは治癒過程早期に出現し、一方、M2マクロファージは治癒過程後期に出現することが分かりました。さらに、受傷後経過時間が判明しているヒト創傷サンプルを用いた解析においても、同様の結果が得られました。これらの結果から、M1マクロファージは創傷治癒早期に、M2マクロファージは創傷治癒後期に活発となることにより、創傷治癒過程が順調に進行することが明らかとなりました。マクロファージバランスを制御することができれば、治癒しやすい創傷を準備し、創傷治癒に最適の環境を与えることが可能となると考えられます。



研究結果の記者発表の様子：記者の質問に答える法医学講座石田裕子准教授（写真左）、國中由美特別研究員（写真右）

喫煙、血圧、飲酒が都道府県の平均寿命に影響する

喫煙が循環器疾患（脳卒中・心筋梗塞などの血管の病気）、がん、肺の病気など様々な疾患の原因であることは医学的に確立していますが、喫煙者の割合が都道府県の平均寿命と関連するかを大規模データで検証したものはほとんどありませんでした。

そこで、本学衛生学講座の研究グループでは、厚生労働省の大規模公開データ（NDB open）による全国2,700万人余りのデータを用いて、喫煙率と平均寿命、全死因による死亡率、がんによる死亡率との関連を都道府県単位で検討しました。

その結果、現在喫煙している人の割合（喫煙率）が多い都道府県ほど平均寿命が短く、全死因による死亡率・がんによる死亡率ともに高いことが分かりました。「現在喫煙」、「血圧高値者」、「過剰飲酒者」の3要因で、平均寿命の都道府県格差の31%～45%が説明できることも明らかになりました。以上より、喫煙・高血圧・過剰飲酒の改善が平均寿命の延伸に重要であると考えられます。和歌山県の喫煙者割合

は都道府県順位としては中程度ですが、男性35%、女性10%と改善の余地があります。従って、積極的な防煙禁煙対策を継続する必要があります。



研究結果の記者発表の様子：記者の質問に答える衛生学講座 藤吉朗教授

「次世代リーダー賞」授賞式について

本学では医学・保健看護学・薬学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、研究のリーダーとして将来の活躍が期待できる優れた若手研究者に対し「次世代リーダー賞」を設け、顕彰しています。今年度、医学部では、消化器



次世代リーダー賞の受賞講演を行う、内科学第二講座の蘆田玲子講師

内科で診療を行う内科学第二講座の蘆田玲子（あしだれいこ）講師が受賞し、令和5年2月14日に授賞式を行いました。蘆田講師は、受賞講演で、これまでライフワークとして、超音波を用いた膵癌（すいがん）の早期診断や低侵襲治療の開発に尽力してきたことを述べ、今後は、AI技術を応用した画像診

断の向上や、ゲノム解析及び遺伝性腫瘍の研究に精力的に取り組みながら、ライフワークである超音波と低侵襲治療の開発に積極的に携わっていくという抱負を述べました。



次世代リーダー賞及び若手研究奨励賞の受賞者

和歌山県立医科大学 がん専門医療人材
(がんプロフェッショナル)養成プラン

市民公開講座

「研究が創り出す がん治療最前線」

動画配信のご案内

令和5年1月21日に開催した市民公開講座（zoomによるオンライン開催）について、下記のとおり、当日の開催内容について動画配信を行っておりますので、興味のある方はぜひご視聴下さい。

なお、視聴についての申込は不要です。

開催内容

講演Ⅰ「よくわかる最新のがんゲノム医療」
国立がん研究センター 中央病院
角南 久仁子 先生

講演Ⅱ「最新がん治療の動向」
和歌山県立医科大学 内科学第三講座
准教授 清水 俊雄

視聴方法

下記URLまたはQRコードからご視聴ください。

URL

<https://www.youtube.com/watch?v=49Gn0Jw1odk>

QRコード



令和4年度がんのリハビリテーション 研修会 in 和歌山 (E-CAREER) 開催!



オンラインによる研修風景

1月29日（日）に「令和4年度がんのリハビリテーション研修会 in 和歌山 (E-CAREER)」を開催しました。平成25年より毎年開催し、今回が第10回となりました。本研修会は多職種が、がんのリハビリテーション治療に関するスキルや専門知識を習得することで、地域のがん患者さんのQOL向上に資することを目的としています。

今回は県内外から16施設100名の医師、看護師、理学療法士、作業療法士および言語聴覚士の方が受講されました。2019年度までは会場に集合して行っていましたが、コロナ禍に入ってからオンラインで開催しています。周術期リハビリテーションや心理的問題、緩和ケアなどについての講義に加え、「がんのリハビリテーションにおける問題点の解決」について、グループワークを実施しました。オンラインでの画面を通して各施設が積極的に意見交換を行い、受講者のレベルアップを図りました。

当院のがんのリハビリテーション治療の特色として、がんの手術予定の患者さんに、術前から筋力や体力を蓄えて手術にのぞんでいただけるよう積極的にリハビリテーション治療を実践しています。入院中、抗がん剤治療等を受けている間も全身状態に合わせて運動療法を実施しています。これらの特色を本研修会では、特別企画として、田島文博教授より「がん患者に対するリハビリテーション医学総論」を講演して頂きました。

今後も患者さんがより質の高い人生が送れるように、「がんのリハビリテーション」の充実・発展に努めていきます。

予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただいております。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて電話予約センターに FAX 送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)・服用中のお薬・お薬手帳をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「当院予約センター」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)・服用中のお薬・お薬手帳をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター (患者支援センター)

TEL 073-441-0489
(受付時間:月～金 8:30～16:00)

FAX 073-441-0805
(受付時間:月・火・水・金 9:00～19:00 / 木 9:00～17:00)

※院内に予約窓口も開設しています。(月～金 9:30～17:00)



待合番号アプリのご案内

「病院待合番号」アプリのインストールにより会計の計算完了済みの番号や外来の順番をスマートフォンでご覧いただけます。食堂・コーヒーショップ・喫茶店、駐車場でも順番を確認できます。下記からダウンロードの上、ぜひご利用ください。

アプリのダウンロード



スマパ

検索

QRコードから
もしくは「スマパ」で検索して
インストールしてください。



患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞かせください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 6 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。

- 受付時間 午前8時50分～午前11時30分
 - 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
 - 休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。